

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	力学第二		
英文授業科目名	Mechanics II		
開講年度	2006年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	越智 保雄		
居室	東4-424		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ochi@mce.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>力学は物理学の中でも最も早く理論体系が確立されたものであり、ボール、弾丸、天体などのような様々な物体の運動を理解する上で重要な学問です。特に、機械工学系の学生にとってはさらに専門的な材料力学、熱力学、流体力学、機械力学等を理解して、自動車、鉄道、航空機などの実際の機械の運動を力学的に取り扱い、設計に適用するための基礎となります。そのため、授業ではできるだけ円周を取り入れ、実際に問題を解いて、力学的な問題に対する理解力を身につけることを目的とします。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
力学第一、力学第一演習

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
教科書：高木隆司著『力学II』（裳華房）

【授業内容とその進め方】
<p>構成材料のモデルとして質点系、剛体および弾性体の力学を取り扱い、毎回の授業に講義の後に演習を実施して、次回の授業の初めに提出された回答の評価と演習問題の解答を示す。授業の内容は以下の通りです。</p> <p>第1週～第2週 2個の質点の運動 第3週～第5週 多数の質点の運動 第5週～第6週 剛体のつり合い</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

第7週～第9週 剛体の回転運動
第10週～第12週 回転と移動を含む運動
第13週～ 弾性体の力学

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

原則として期末テストと出席、授業態度で評価するが、毎回の演習結果の評価も参考にする。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話、メールなどで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

力学第二は力学第一とともに物理学の基礎として、また2年次以降の機械工学系の専門科目を理解する上での基礎として大変重要な科目です。とにかく、毎回出席して、演習問題を十分理解するように勤めてください。

【その他】